



## 台風

江別 三宅 浩次

台風の衛星写真に大きな目この大きさが恐怖を誘う  
先週の21号を追いかけてこの24号の憎らしきこと  
わが家の先祖の墓を揺さぶってあの台風の罰当たり野郎  
台風風に倒されボプラ木は根を上にして天を仰ぐか  
台風の一過というが白々しい天の青さに文句言いたし

## スギナ

札幌 浜島 泉

乾<sup>かわ</sup>びけるスギナを燃ゆる火に焼<sup>く</sup>べて 線香花火の音を彷彿  
移植して消滅するを恐れしに シラネアフリカの萎<sup>な</sup>ゆるもなく  
庭先に食事テーブルしつらへて焼肉パーティー 風にて延期  
陽光の失せぬうちにと 立秋にデンギスカンのガーデン宴  
わが刻むリズムに合はせ体操す ラヂオなくとも体悟りて

## 秋色

釧路 児玉 昌彦

浜おおう紅き絨毯 サンゴ草 遡上の鮭と同じ赤にて  
陽の光見る角度でも違<sup>ちが</sup>う色 浜の紅葉 冬ま近なり  
変哲のなき紅葉も明日待たずこのひとときと思えばいとし  
紅<sup>あか</sup>に黄に褐色になりて落ちし葉の呻き聞こゆる葉ずれの合間に  
葎原の秋の夕陽は鴨の群れ率いて湖に身を投げんとす

## 災害

北広島 古屋雅三知

連日の台風地震凄まじく 都市のインフラ機能喪失  
早朝に大きく揺れる地震あり 帰る術<sup>すべ</sup>無く現地に足止め  
麻痺したる都市の機能を見下ろすは 藻岩の山の晴れ渡る空  
商品<sup>もの</sup>求め ガソリンスタンド・スーパーと 朝早くより列長々と  
さいわいに我が家の被害は軽微なれど わが部屋震度7で変わらさず

## 菊枕

函館 水関 清

それぞれの 旅の思い出満載し 尾灯で埋まる上り高速  
微風には頷き揺れて 野分には地を這うごとき 秋桜の花  
きやあきやあと 嬰兒<sup>や</sup>の声する魚市場 乳母車で笑む看板娘  
七五三 買って貰いし千歳飴 地を擦るたびにまた持ち上げて  
曲がる度 街の秋色切り取りて 夕陽の車庫へ電車戻り来

## 白百合

旭川 稲積 文子

垣根より首を伸して白き百合 吾が家の一員の様な顔して  
好き勝手伸び放題の庭の樹々 それでも吾に何かささやく  
猛獣の幼き顔はやさしかり されど宿命の怖さを秘めて  
ピョンピョンと陽気を浴びてたわむれる 鴉は一羽飛ぶを忘れて  
「もうおねがいゆるして」とノートに残し 世を去った  
赦せないは動物以下の両親